

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年11月9日

【四半期会計期間】 第13期第2四半期(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

【会社名】 株式会社マーベラスエンターテイメント

【英訳名】 Marvelous Entertainment Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中山晴喜

【本店の所在の場所】 東京都品川区東品川四丁目12番8号  
品川シーサイドイーストタワー5階

【電話番号】 03-5769-7447

【事務連絡者氏名】 執行役員 中山郁伸

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区東品川四丁目12番8号  
品川シーサイドイーストタワー5階

【電話番号】 03-5769-7447

【事務連絡者氏名】 執行役員 中山郁伸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第12期 第2四半期連結 累計期間	第13期 第2四半期連結 累計期間	第12期 第2四半期連結 会計期間	第13期 第2四半期連結 会計期間	第12期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	4,341,187	4,347,851	2,700,259	2,272,297	10,139,752
経常損失 ( ) (千円)	307,228	300,942	57,345	114,106	1,308,003
四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	237,998	279,092	51,304	118,097	1,221,474
純資産額 (千円)			2,379,982	1,499,418	1,291,675
総資産額 (千円)			7,835,764	6,743,544	6,731,813
1株当たり純資産額 (円)			27,362.99	12,290.32	15,363.97
1株当たり四半期(当期) 純損失 ( ) (円)	2,818.25	2,396.20	607.74	968.02	14,567.14
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)					
自己資本比率 (%)			29.4	22.2	19.0
営業活動によるキャッシュ ・フロー (千円)	1,304,660	167,834			1,038,113
投資活動によるキャッシュ ・フロー (千円)	69,358	123,677			153,091
財務活動によるキャッシュ ・フロー (千円)	1,111,087	471,915			937,384
現金及び現金同等物の四半 期末(期末)残高 (千円)			1,100,402	1,280,758	1,109,020
従業員数 (名)			182	157	181

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 第12期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

3. 第12期及び第13期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	157(14)
---------	---------

- (注) 1 従業員数の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期平均雇用人数であります。  
2 臨時従業員には、アルバイト及び契約社員を含み、派遣社員を除いております。

### (2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	92(10)
---------	--------

- (注) 1 従業員数の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期平均雇用人数であります。  
2 臨時従業員には、アルバイト及び契約社員を含み、派遣社員を除いております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
音楽映像事業	160,857	35.3
デジタルコンテンツ事業	529,782	13.4
舞台公演事業		
合計	690,639	19.7

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、製造原価によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注実績

当第2四半期連結会計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
音楽映像事業	213,528	+12.8	197,672	+409.0
デジタルコンテンツ事業				
舞台公演事業				
合計	213,528	+12.8	197,672	+409.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
音楽映像事業	833,750	13.1
デジタルコンテンツ事業	788,848	31.0
舞台公演事業	649,698	+8.8
合計	2,272,297	15.8

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結会計期間		当第2四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
(株)ネルケプランニング	599,075	22.2	652,235	28.7
(株)ポニーキャニオン	314,200	11.6	304,335	13.4

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 【事業等のリスク】

該当事項はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

## 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

## (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日～平成21年9月30日)における当社グループの連結業績は、売上高2,272百万円(前年同四半期比15.8%減)、営業損失95百万円(前年同四半期は営業損失42百万円)、経常損失114百万円(前年同四半期は経常損失57百万円)、四半期純損失118百万円(前年同四半期は純損失51百万円)となりました。

売上高におきましては、音楽映像事業、デジタルコンテンツ事業ともに、市場の縮小に伴いDVDやゲームソフトの出荷本数が減少したこと等により、前年同四半期と比較して連結売上高は減少いたしました。

利益におきましては、音楽映像事業において、コンテンツ償却費や製造原価の圧縮を進めたほか、本社移転等による各種費用の圧縮に努めましたが、デジタルコンテンツ事業において、ワールドワイド向けの大型タイトルの編成に伴い1タイトル当たりの制作費が増加するなど利益を圧迫し、前年同四半期と比較して損失幅は拡大いたしました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 音楽映像事業

音楽映像事業におきましては、アニメーションを中心とした優良コンテンツの音楽・映像商品（パッケージソフト）化とコンテンツの企画立案から二次利用までを行うマスターライセンス（映像著作権）保有作品の製作を行っております。

当第2四半期連結会計期間におきましては、音楽事業において「プリキュア」シリーズの企画音楽が好調に推移した他、専属アーティスト「中河内雅貴」、「古川雄大」、「vistlip」の楽曲等を中心に商品を編成いたしました。

映像事業におきましては、前期より引き続き「遊 戯 王5D's」、「家庭教師ヒットマンREBORN!」、「ミュージカル『テニスの王子様』」関連DVDや、新たに「フレッシュプリキュア!」、「タコタマ」、「ジュエルペット」、「宙のまにまに」、「毎日かあさん」等の映像商品化を行いました。

この結果、当第2四半期連結会計期間における音楽映像事業の業績は、連結売上高833百万円（前年同四半期比13.1%減）、連結営業利益83百万円（前年同四半期比27.3%減）となりました。

#### デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業におきましては、据え置き型及び携帯型ゲーム機を中心としたデジタルエンターテイメントコンテンツの企画・開発・発売を行っております。

当第2四半期連結会計期間におきましては、国内において、オリジナル作品「王様物語（Wii）」、著作権作品「家庭教師ヒットマンREBORN! バトルアリーナ2 スピリットバースト（PSP）」等5タイトルを発売いたしました。

英国子会社Rising Star Games Limitedにおいては、「Harvest Moon: Tree of Tranquility（Wii）」（邦題：牧場物語 やすらぎの樹）等4タイトルを発売いたしました。また、米国子会社Marvelous Entertainment USA, Inc.においては、「Little King's Story（Wii）」（邦題：王様物語）等2タイトルを発売いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間におけるデジタルコンテンツ事業の業績は、連結売上高788百万円（前年同四半期比31.0%減）、連結営業損失125百万円（前年同四半期は営業損失53百万円）となりました。

#### 舞台公演事業

舞台公演事業におきましては、漫画やアニメ、ゲームの人気作品を原作にした興業ビジネスを展開しております。

当第2四半期連結会計期間におきましては、2009年5月に公演した「ミュージカル『テニスの王子様』 コンサート Dream Live 6th」と、7月から公演した「ミュージカル『テニスの王子様』 The Final Match 立海 First feat. 四天王寺」の前半公演の実績を計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間における舞台公演事業の業績は、連結売上高649百万円（前年同四半期比8.8%増）、連結営業利益88百万円（前年同四半期比14.0%増）となりました。

所在地別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

日本においては、外部に対する売上高2,061百万円（前年同四半期比15.6%減）、営業利益82百万円（前年同四半期比48.0%減）となりました。

イギリスにおいては、外部に対する売上高178百万円（前年同四半期比30.8%減）、営業損失21百万円（前年同四半期は営業損失8百万円）となりました。

アメリカにおいては、外部に対する売上高32百万円（前年同四半期は売上実績なし）、営業損失11百万円（前年同四半期は営業損失9百万円）となりました。

## （２）財政状態の分析

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は6,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加しました。これは主に現金及び預金の増加171百万円、売掛金の減少302百万円、映像コンテンツの増加12百万円、デジタルコンテンツの増加131百万円によるものです。

負債合計は5,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円減少しました。これは主に、買掛金の減少111百万円、１年内返済予定の長期借入金の減少391百万円、短期借入金の増加302百万円によるものです。

純資産合計は1,499百万円となり、前連結会計年度に比べ207百万円増加しました。これは主に、資本金及び資本剰余金の増加499百万円、利益剰余金の減少279百万円によるものです。

## （３）キャッシュ・フローの状況の分析

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円増加しました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結会計期間における営業活動によって獲得した資金は68百万円となりました。（前年同四半期連結会計期間に比べ804百万円増加）これは主に、売上債権の減少36百万円、たな卸資産の増加269百万円、仕入債務の増加216百万円、未払印税の増加43百万円によるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結会計期間における投資活動によって使用した資金は20百万円となりました。（前年同四半期連結会計期間に比べ23百万円減少）これは主に、有形固定資産の取得による支出23百万円によるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結会計期間における財務活動によって使用した資金は106百万円となりました。（前年同四半期連結会計期間に比べ390百万円増加）これは主に、短期借入による収入1,101百万円、短期及び長期借入金の返済1,207百万円によるものです。

## （４）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第２四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## （５）研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【設備の状況】

#### (1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

#### (2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。



## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	300,000
計	300,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	123,380	123,380	東京証券取引所 (市場第二部)	当社は単元株制度を採用して おりません。
計	123,380	123,380		

(注) 提出日現在の発行数には、平成21年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

## (2) 【新株予約権等の状況】

平成13年改正旧商法第280条ノ20及び第280条ノ21の規定に基づく特別決議による新株予約権の状況  
(平成14年6月20日定時株主総会決議による新株予約権ノ第2回)

	第2四半期会計期間末現在 (平成21年9月30日)
新株予約権の数(個)	27
新株予約権のうち自己新株予約権の数	
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数(株)	432
新株予約権の行使時の払込金額(円)	38,027
新株予約権の行使期間	新株予約権発行日より2年経過したときから、平成24年5月31日まで
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円)	発行価額 38,027 資本組入額 19,014
新株予約権の行使の条件	(注)2
新株予約権の譲渡に関する事項	(注)2
代用払込みに関する事項	
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	

(注)1 新株予約権の目的となる株式の数は、定時株主総会における新株発行予定株式数から、退職等の理由により喪失した者の新株予約権の数を減じております。

## 2 新株予約権の行使の条件及び新株予約権の譲渡に関する事項

(1) 新株予約権者は、権利行使時においても当社又は当社の子会社の取締役、監査役もしくは従業員であることを要する。ただし、当社が取締役会の決議により認めた場合については、この限りではない。

(2) 本件新株予約権については、譲渡、質入その他の処分は認めない。ただし、当社取締役会の承認を受けた場合には、譲渡することができる。

(3) 新株予約権者が権利行使期間の初日到来前に死亡した場合は、新株予約権者の相続人はこれを行行使することはできない。

(4) 新株予約権者が権利行使期間の初日到来後に死亡した場合は、新株予約権者の相続人はこれを行行使することができる。

(5) このほかの条件は、当社と新株予約権者との間で締結する「新株予約権割当契約」に定めるところによる。

3 平成14年7月8日開催の取締役会決議により、平成14年8月1日をもって1株を2株とする株式分割を行っております。これに伴い、新株予約権の目的となる株式の数、新株予約権の行使時の払込金額、新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額及び資本組入額の調整を行っております。

4 平成16年3月1日開催の取締役会決議により、平成16年5月20日をもって1株を2株とする株式分割を行っております。これに伴い、新株予約権の目的となる株式の数、新株予約権の行使時の払込金額、新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額及び資本組入額の調整を行っております。

5 平成17年5月9日開催の取締役会決議により、平成17年7月20日をもって1株を2株とする株式分割を行っております。これに伴い、新株予約権の目的となる株式の数、新株予約権の行使時の払込金額、新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額及び資本組入額の調整を行っております。

6 平成18年2月10日開催の取締役会決議により、平成18年4月1日をもって1株を2株とする株式分割を行っております。これに伴い、新株予約権の目的となる株式の数、新株予約権の行使時の払込金額、新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額及び資本組入額の調整を行っております。

7 平成21年4月9日開催の取締役会決議により、平成21年4月27日を払込期日とする第三者割当増資を行っております。これに伴い、新株予約権の行使時の払込金額、新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額の調整を行っております。

## (平成16年6月23日定時株主総会決議による新株予約権 / 第3回)

	第2四半期会計期間末現在 (平成21年9月30日)
新株予約権の数(個)	1,055
新株予約権のうち自己新株予約権の数	
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数(株)	4,220
新株予約権の行使時の払込金額(円)	76,560
新株予約権の行使期間	平成18年6月24日から平成26年6月23日まで
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円)	発行価額 76,560 資本組入額 38,280
新株予約権の行使の条件	(注) 2
新株予約権の譲渡に関する事項	(注) 2
代用払込みに関する事項	
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	

(注) 1 新株予約権の目的になる株式の数は、定時株主総会における新株発行予定株式数から、退職等の理由により喪失した者の新株予約権の数を減じております。

## 2 新株予約権の行使の条件及び新株予約権の譲渡に関する事項

- (1) 新株予約権者は、権利行使時においても当社又は当社の子会社の取締役、監査役もしくは従業員であることを要する。ただし、当社が取締役会の決議により認められた場合については、この限りではない。
  - (2) 本件新株予約権については、譲渡、質入その他の処分は認めない。ただし、当社取締役会の承認を受けた場合には、譲渡することができる。
  - (3) 新株予約権者が権利行使期間の初日到来前に死亡した場合は、新株予約権者の相続人はこれを行行使することはできない。
  - (4) 新株予約権者が権利行使期間の初日到来後に死亡した場合は、新株予約権者の相続人はこれを行行使することができる。
  - (5) このほかの条件は、当社と新株予約権者との間で締結する「新株予約権割当契約」に定めるところによる。
- 3 平成17年5月9日開催の取締役会決議により、平成17年7月20日をもって1株を2株とする株式分割を行っております。これに伴い、新株予約権の目的となる株式の数、新株予約権の行使時の払込金額、新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額及び資本組入額の調整を行っております。
- 4 平成18年2月10日開催の取締役会決議により、平成18年4月1日をもって1株を2株とする株式分割を行っております。これに伴い、新株予約権の目的となる株式の数、新株予約権の行使時の払込金額、新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額及び資本組入額の調整を行っております。

## (3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年9月30日		123,380		1,128,472		1,129,991

## (5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
中山 晴喜	東京都世田谷区	55,259	44.78
株式会社アミューズキャピタル インベストメント	東京都港区赤坂1丁目12-32	18,400	14.91
株式会社ポニーキャニオンエン タープライズ	東京都港区麻布台2丁目3番5号	1,600	1.29
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	1,600	1.29
株式会社マーベラスエンターテ イメント	東京都品川区東品川4丁目12番8号	1,380	1.11
松本 慶明	東京都港区	869	0.70
株式会社ムービック	東京都板橋区弥生町77-3	800	0.64
株式会社東北新社	東京都港区赤坂4丁目8-10	800	0.64
菅井 達雄	東京都目黒区	693	0.56
青木 利則	神奈川県横浜市戸塚区	687	0.55
計		82,088	66.47

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,380		
完全議決権株式(その他)	普通株式 122,000	122,000	
単元未満株式			
発行済株式総数	123,380		
総株主の議決権		122,000	

## 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社マーベラス エンターテイメント	東京都品川区東品川4丁目12番8号 品川シーサイドイースト タワー5F	1,380		1,380	1.11
計		1,380		1,380	1.11

## 2 【株価の推移】

## 【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	18,950	16,900	17,500	17,080	16,000	15,800
最低(円)	12,530	14,900	15,700	15,050	15,300	14,500

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

## 3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,280,758	1,109,020
売掛金	941,603	1,243,996
製品	-	54,419
商品及び製品	73,948	-
仕掛品	335,882	300,172
映像コンテンツ	165,765	153,466
デジタルコンテンツ	2,686,283	2,555,113
原材料及び貯蔵品	27,067	25,753
その他	328,690	476,733
貸倒引当金	38,867	47,769
流動資産合計	5,801,131	5,870,907
固定資産		
有形固定資産	1 219,562	1 187,204
無形固定資産		
のれん	48,209	64,279
その他	72,295	86,670
無形固定資産合計	120,505	150,949
投資その他の資産	602,344	522,753
固定資産合計	942,412	860,906
資産合計	6,743,544	6,731,813
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	707,048	818,345
短期借入金	2,583,847	2,281,840
1年内返済予定の長期借入金	8,004	400,000
未払法人税等	17,192	6,248
賞与引当金	66,207	63,717
返品調整引当金	6,331	27,305
その他	1,777,668	1,833,712
流動負債合計	5,166,301	5,431,170
固定負債		
長期借入金	69,995	-
その他	7,829	8,967
固定負債合計	77,824	8,967
負債合計	5,244,125	5,440,138
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,128,472	878,539
資本剰余金	1,129,991	880,059
利益剰余金	688,798	409,705
自己株式	27,726	27,726
株主資本合計	1,541,939	1,321,167
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	42,520	44,421
評価・換算差額等合計	42,520	44,421
少数株主持分	-	14,929
純資産合計	1,499,418	1,291,675
負債純資産合計	6,743,544	6,731,813

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,341,187	4,347,851
売上原価	3,298,746	3,357,491
売上総利益	1,042,441	990,360
従業員給料及び賞与	253,620	226,797
賞与引当金繰入額	61,223	51,170
広告宣伝費	484,021	491,752
その他	572,462	485,391
販売費及び一般管理費合計	1,371,328	1,255,111
営業損失( )	328,887	264,751
営業外収益	49,304	1,325
営業外費用		
支払利息	26,605	24,053
為替差損	-	10,025
その他	1,040	3,437
営業外費用合計	27,646	37,517
経常損失( )	307,228	300,942
特別利益		
貸倒引当金戻入額	19,130	9,291
その他	1,187	204
特別利益合計	20,318	9,495
特別損失		
固定資産除却損	-	3,929
特別損失合計	-	3,929
税金等調整前四半期純損失( )	286,910	295,377
法人税、住民税及び事業税	1,540	1,625
少数株主損失( )	50,451	17,910
四半期純損失( )	237,998	279,092



## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,700,259	2,272,297
売上原価	2,044,645	1,837,262
売上総利益	655,613	435,035
従業員給料及び賞与	135,269	105,322
賞与引当金繰入額	31,198	29,062
広告宣伝費	250,418	174,684
その他	281,695	221,959
販売費及び一般管理費合計	698,582	531,028
営業損失( )	42,969	95,992
営業外収益	1,247	768
営業外費用		
支払利息	14,722	12,276
為替差損	-	6,599
その他	900	4
営業外費用合計	15,622	18,881
経常損失( )	57,345	114,106
特別利益		
固定資産売却益	1,187	204
貸倒引当金戻入額	873	2,573
特別利益合計	2,061	2,369
特別損失		
固定資産除却損	-	3,929
特別損失合計	-	3,929
税金等調整前四半期純損失( )	55,283	120,405
法人税、住民税及び事業税	877	872
少数株主損失( )	4,856	3,180
四半期純損失( )	51,304	118,097

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	286,910	295,377
減価償却費	58,576	58,980
映像コンテンツ償却額	357,221	263,835
のれん償却額	16,069	16,069
賞与引当金の増減額( は減少)	8,865	2,490
貸倒引当金の増減額( は減少)	19,130	9,291
返品調整引当金の増減額( は減少)	1,797	20,917
受取利息及び受取配当金	526	47
支払利息	26,605	24,053
固定資産売却損益( は益)	-	204
固定資産除却損	-	3,929
売上債権の増減額( は増加)	758,214	292,076
たな卸資産の増減額( は増加)	1,212,314	454,533
仕入債務の増減額( は減少)	507,249	101,904
未払金の増減額( は減少)	351,486	9,207
未払印税の増減額( は減少)	143,707	65,837
未払消費税等の増減額( は減少)	18,335	7,253
その他の流動資産の増減額( は増加)	188,107	114,627
その他の流動負債の増減額( は減少)	400,753	30,758
その他	-	3,050
小計	1,117,394	203,904
利息及び配当金の受取額	526	47
利息の支払額	28,417	20,547
法人税等の支払額又は還付額( は支払)	159,374	56,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,304,660	167,834
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	43,581	33,153
有形固定資産の売却による収入	10,285	3,500
無形固定資産の取得による支出	35,501	6,075
敷金及び保証金の差入による支出	-	88,347
敷金及び保証金の回収による収入	-	640
貸付けによる支出	1,060	1,900
貸付金の回収による収入	500	1,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,358	123,677
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,018,102	2,370,432
短期借入金の返済による支出	815,191	2,074,869
長期借入れによる収入	-	80,000
長期借入金の返済による支出	24,053	402,001
ファイナンス・リース債務の返済による支出	114	1,307
株式の発行による収入	-	499,865
配当金の支払額	62,250	204
自己株式の取得による支出	5,404	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,111,087	471,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,697	8,665
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	234,233	171,737
現金及び現金同等物の期首残高	1,334,636	1,109,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,100,402	1,280,758

【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)  
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)  
該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)  
該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)  
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)  
該当事項はありません。

## 【注記事項】

## (四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1.有形固定資産の減価償却累計額 275,180千円	1.有形固定資産の減価償却累計額 276,441千円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1.現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間 末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されて いる科目の金額との関係(平成20年9月30日現在)	1.現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間 末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されて いる科目の金額との関係(平成21年9月30日現在)
現金及び預金 1,100,402千円	現金及び預金 1,280,758千円
現金及び現金同等物 1,100,402千円	現金及び現金同等物 1,280,758千円

## (株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日  
至平成21年9月30日)

## 1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	123,380

## 2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	1,380

## 3 新株予約権等に関する事項

会社法施行日以前に付与したストック・オプションにつき、該当事項はありません。

## 4 配当に関する事項

該当事項はありません。

## 5 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成21年4月27日付で、当社代表取締役社長中山晴喜から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が249,932千円、資本準備金が249,932千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,128,472千円、資本剰余金が1,129,991千円となっております。

## (セグメント情報)

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	舞台公演 事業 (千円)	計 (千円)	消去又 は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	959,592	1,143,629	597,036	2,700,259		2,700,259
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,107			6,107	(6,107)	
計	965,700	1,143,629	597,036	2,706,366	(6,107)	2,700,259
営業利益又は営業損失( )	115,468	53,787	77,903	139,584	(182,554)	42,969

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品又は事業の内容

(1) 音楽映像事業.....DVD、音楽CD、音楽原盤制作等

(2) デジタルコンテンツ事業.....ゲームソフト

(3) 舞台公演事業.....舞台公演

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	舞台公演 事業 (千円)	計 (千円)	消去又 は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	833,750	788,848	649,698	2,272,297		2,272,297
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	446			446	(446)	
計	834,196	788,848	649,698	2,272,743	(446)	2,272,297
営業利益又は営業損失( )	83,990	125,121	88,847	47,717	(143,710)	95,992

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品又は事業の内容

(1) 音楽映像事業.....DVD、音楽CD、音楽原盤制作等

(2) デジタルコンテンツ事業.....ゲームソフト、PCソフト

(3) 舞台公演事業.....舞台公演

## 前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	舞台公演 事業 (千円)	計 (千円)	消去又 は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,781,235	1,948,063	611,889	4,341,187		4,341,187
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,912			6,912	(6,912)	
計	1,788,147	1,948,063	611,889	4,348,099	(6,912)	4,341,187
営業利益又は営業損失( )	144,967	165,938	73,590	52,619	(381,506)	328,887

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品又は事業の内容

(1) 音楽映像事業.....DVD、音楽CD、音楽原盤制作等

(2) デジタルコンテンツ事業.....ゲームソフト

(3) 舞台公演事業.....舞台公演

## 当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	舞台公演 事業 (千円)	計 (千円)	消去又 は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,608,304	1,981,324	758,222	4,347,851		4,347,851
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,341			3,341	(3,341)	
計	1,611,645	1,981,324	758,222	4,351,192	(3,341)	4,347,851
営業利益又は営業損失( )	234,904	224,473	45,226	55,658	(320,409)	264,751

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品又は事業の内容

(1) 音楽映像事業.....DVD、音楽CD、音楽原盤制作等

(2) デジタルコンテンツ事業.....ゲームソフト、PCソフト

(3) 舞台公演事業.....舞台公演

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,441,972	258,287		2,700,259		2,700,259
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,819			4,819	(4,819)	
計	2,446,791	258,287		2,705,078	(4,819)	2,700,259
営業利益又は営業損失( )	159,705	8,252	9,289	142,164	(185,134)	42,969

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,061,484	178,744	32,068	2,272,297		2,272,297
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	61,083			61,083	(61,083)	
計	2,122,567	178,744	32,068	2,333,380	(61,083)	2,272,297
営業利益又は営業損失( )	82,992	21,032	11,276	50,684	(146,677)	95,992

## 前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,976,163	365,023		4,341,187		4,341,187
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,046			6,046	(6,046)	
計	3,982,209	365,023		4,347,233	(6,046)	4,341,187
営業利益又は営業損失( )	123,278	51,158	13,404	58,715	(387,603)	328,887

## 当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,877,147	422,971	47,732	4,347,851		4,347,851
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	150,098			150,098	(150,098)	
計	4,027,246	422,971	47,732	4,497,949	(150,098)	4,347,851
営業利益又は営業損失( )	158,634	79,190	16,904	62,540	(327,291)	264,751



## 【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	243,040	44,751	12,752	17,669	318,212
連結売上高(千円)					2,700,259
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.0	1.7	0.5	0.7	11.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州.....イギリス、フランス、ドイツ

(2) 北米.....アメリカ

(3) アジア.....韓国、フィリピン

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	248,874	120,850	10,990	20,988	401,703
連結売上高(千円)					2,272,297
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.0	5.3	0.5	0.9	17.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州.....イギリス、フランス、ドイツ、イタリア

(2) 北米.....アメリカ

(3) アジア.....韓国、台湾

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## 前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	355,676	52,130	16,933	25,843	450,583
連結売上高(千円)					4,341,187
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.2	1.2	0.4	0.6	10.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州.....イギリス、フランス、ドイツ

(2) 北米.....アメリカ

(3) アジア.....韓国、フィリピン

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## 当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	474,293	202,549	11,266	60,199	748,308
連結売上高(千円)					4,347,851
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.9	4.7	0.3	1.4	17.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州.....イギリス、フランス、ドイツ、イタリア

(2) 北米.....アメリカ

(3) アジア.....韓国、台湾

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (リース取引関係)

該当事項はありません。

## (有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

## (デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

## (ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

## (企業結合等関係)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

## 1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
12,290.32円	15,363.97円

## 2 1株当たり四半期純損失及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

## 第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純損失 2,818.25円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	1株当たり四半期純損失 2,396.20円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## 2. 1株当たり四半期純損失の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純損失(千円)	237,998	279,092
普通株式に係る四半期純損失(千円)	237,998	279,092
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳(千円)		
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(株)	84,448	116,473

## 第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純損失	607.74円	1株当たり四半期純損失	968.02円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純損失の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純損失(千円)	51,304	118,097
普通株式に係る四半期純損失(千円)	51,304	118,097
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳(千円)		
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(株)	84,418	122,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月14日

株式会社マーベラスエンターテイメント

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 湯本 堅司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 唐木 秀明 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 那須 伸裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マーベラスエンターテイメントの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マーベラスエンターテイメント及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月9日

株式会社マーベラスエンターテイメント

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 湯本 堅 司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 片桐 春 美 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マーベラスエンターテイメントの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マーベラスエンターテイメント及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。